

Q 国の奨学金にはどんな種類がある?

A 給付型、貸与型、利子の有無など、いろいろな種類がある

ここでは国が運営する「日本学生支援機構の奨学金」について紹介しよう。次のような種類があり、それぞれ申請基準や条件が異なるため、希望する奨学金についてはしっかり調べて、早めの申請準備が必要になる。



日本学生支援機構の奨学金

大学卒業後、返済が不要
給付型

給付奨学金

大学卒業後、返済が必要
貸与型

第一種奨学金
無利子

第二種奨学金
有利子

入学時特別
増額貸与奨学金
有利子



給付奨学金について

意欲と能力のある生徒が経済的理由により進学および修学の継続を断念することがないよう、原則として返還義務のない奨学金を支給して進学などを支援する制度。進学前に採用候補者を決定するための申し込みを受け付ける。この給付奨学金の対象者は、大学などへ申請することにより、入学金・授業料の免除・減額も同時に受けることができる。



● 給付奨学金の選考基準(学力基準・家計基準)

学力基準		申し込み時までの高校などの成績の平均が5段階評価で3.5以上※
家計基準	収入基準	申し込み者(生徒)と生計維持者の市町村民税所得割が非課税であること、またはこれに準じる世帯と認められること
	資産基準	申し込み者(生徒)と生計維持者(2人)の資産額の合計が2,000万円未満(生計維持者が1人のときは1,250万円未満)であること

※この学力基準に満たなくても、将来は社会で自立し活躍する目標をもって、進学しようとする大学などにおける学修意欲を有していれば申し込み可能

● 給付奨学金の支給月額(大学・短大・専門学校) (住民税非課税世帯《第I区分》の場合)

国公立		私立	
自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
29,200円(33,300円)	66,700円	38,300円(42,500円)	75,800円

※生活保護世帯の人および児童養護施設などから通学する人はカッコ内の金額

大学進学についての

お金のギモン

大学進学には高額のお金が必要になる。でも、経済的な理由で夢をあきらめるなんてもったいない。
学ぶ意欲をバックアップしてくれる制度はいろいろある。お金のギモンは早めに解決しよう。

Q 進学したいけれど、経済的負担が大きいときは?

A 奨学金制度などの利用を検討しよう



大学に進学したいけれど経済的理由で困難という場合は、奨学金制度や教育ローンを利用できるか確認してみよう。自分に合った制度を上手に活用できれば、進学もあきらめずに済むはずだ。

奨学金制度

能力や学習意欲がありながら、経済的理由で修学が困難な学生に対して、一定の金額を給付または貸与する制度

1

日本学生支援機構の奨学金

国が運営している奨学金で、給付型と貸与型がある。学生の「約2人に1人※」が利用している

※2020年度実績/日本学生支援機構調査による

CHECK POINT

日本学生支援機構のサイトには「大学・地方公共団体等が行う奨学金制度」のコーナーがあり、都道府県や申し込み時期などの条件や大学名・団体名から検索を行うことができる。まずは一度チェックしてみよう。

2

地方公共団体の奨学金

都道府県や市区町村が実施し、金額は多くないが貸与型で利息なしのケースが多い

3

民間育英団体の奨学金

給付型が多いが、対象とする大学を指定するケースも多い

4

大学独自の奨学金

大学によって金額も条件もさまざまなので、学校資料などで確認すること



教育ローン 保護者が、国や銀行、信用金庫などから教育資金を借りる制度

国際教育ローン ▶ 日本政策金融公庫が行う教育一般貸付のこと

民間ローン ▶ 銀行や信用金庫、労働金庫などが行っている、教育に関する費用に限定した融資のこと